

2020 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	前田 由紀子	職名	教授	学位	修士 (教育学) (九州大学 2004 年) 博士 (教育学) (福岡大学 2010 年)
----	--------	----	----	----	--

研 究 分 野	研究内容のキーワード
精神看護学、看護教育学	精神科看護師、現象学、コンピテンシー、看護継続教育、キャリア、リカバリー、ストレングス

研 究 課 題
精神科看護師のキャリア形成に関する研究 精神科看護におけるリカバリーに関する研究

担 当 授 業 科 目
精神看護学概論 (後期) (看護学科) 精神看護方法論 (後期) (看護学科) 精神看護学演習 (前期) (看護学科) 精神看護学実習 (通年) (看護学科) 看護総合演習 (前期) (看護学科) 看護総合実習 (前期) (看護学科) 看護教科教育法 I (前期) (看護学科) 看護教科教育法 II (後期) (看護学科)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【精神看護学概論】</p> <p>新型コロナウイルス感染症のため、感染予防に留意し対面授業を進めた。授業は対面授業を実施できたが、感染拡大の影響で試験のみがリモートになった。心の健康を保持・増進するための援助法の基礎を教授した。人との関わりがケアの基本となる精神看護を理解し、精神疾患を持つ人に限らず精神的援助のあり方を強調した。学生の能動的な学習を促すために、「発達段階と危機」の講義後に「ライフサイクルの危機とその支援」というテーマでレポートを作成させ、自らの危機と支援された状況について考察させ、精神の発達について理解を図った。学生の反応として、メンタルヘルスに関心が深まったという感想が多く聞かれた。</p>
<p>授業科目名【精神看護方法論】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、授業・試験はすべてリモートでの実施となった。精神看護学概論で学んだ基礎知識を活用しながら、精神の健康の維持および精神疾患からの回復を援助するための原理と方法を教授した。精神障害は、イメージがしにくいため視聴覚教材を活用することで理解が図られる。精神疾患の教材 DVD は、マイナスのイメージのみが、先行することがしばしばあるため、テレビやインターネットの動画などで、精神疾患を持つ人の健康な面が理解できるようなものを選んで視聴させた。対象者やその家族の心理面の理解、共感能力の向上を目的に、精神疾患当事者や家族などの著作 (動画を含む) を 5 編読み、感想を提出させた。授業の進行と読書を重ねることで対象者の理解が進んだと思われる。国家試験対策を兼ねて、精神看護学に関する問題の解説を記述させポートフォリオの作成を行った。</p>
<p>授業科目名【精神看護学演習】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、授業・試験はすべてリモートでの実施となった。精神疾患、症状、治療など基礎的知識を確認後、統合失調症の事例を展開した。精神に障がいをもつ人の援助に適切とされるオレム・アンダーウッドの理論とストレングスモデルを用い、精神障がい者やその家族のケアについて演習を実施した。例年、実習病院の指導者が演習に参加し、精神科看護のイメージが捉えやすくなっていたが、</p>

今年度はできなかったため、病棟がイメージしやすいような DVD を購入し適宜活用した。例年、グループワークを実施しているが、今年度はリモートのため個人ワークに変更したが、理解度は良かった。課外においては、うつ病の事例を用い、個人ワークにて看護過程を展開させた。実習に必要な基礎力の定着および向上を目的にワークブックを作製し手書きでまとめさせた。

授業科目名【精神看護学実習】
 実習前は、事前学習（精神疾患、精神看護、精神科リハビリ等の基礎知識）の徹底を図り、学習不足の学生には課題を与え、指導を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で、現地オリエンテーションができなかったため、実習病院から資料をいただき教員が説明したり、看護部長にリモートでオリエンテーションをしていただくなど、できるだけ学生が理解しやすいように配慮した。新型コロナウイルス感染症の影響で、臨地実習が実施できたのは 2 グループのみであった。2 グループ以外は、学内実習またはリモート実習で対応した。教員が患者役を担い、学生との対話を進めた。教員は、統合失調症やうつ病の患者役になりきり、対話を中心に進めることで患者理解が図られた。学内実習時は、感染予防に留意し、感染状況によって適宜リモートを取り入れた。

授業科目名【看護総合演習】【看護総合実習】
 7 人の学生を担当し、精神看護領域の総合演習、総合実習に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の影響で、看護総合演習の授業はリモートでの実施となった。また、実習は縮小して実施することになった。精神科訪問看護の実習は実施できず、精神科デイケアのみとなった。しかし、実際に地域で生活している精神障害者と対話することで、精神障がい者の地域生活への理解が深まったと考える。4 年間の統合の科目となるため、学生の自主性を重視し、学習を進めた。演習では、精神障がい者の在宅看護や就労支援、デイケアに関する文献検索を行い、リモートで文献クリティーク、ディスカッションを行い、思考を深めることに努めた。学生の問題意識に沿ったテーマで論文を作成し、研究的思考が反映されるように支援した。論文完成後は、パワーポイントを作成しゼミでリモート発表会を行った。

授業科目名【看護教科教育法Ⅰ】
 新型コロナウイルス感染症の影響で、授業の前半はリモートでの実施となったが、模擬授業の指導は、感染予防に留意し対面授業を行った。「講義」形態の授業ができることを目的に授業を展開した。学習指導要領に基づき、高等学校看護科教育の目標・教育課程を理解できるように、教育方法論・学習理論について学びを深めさせた。模擬授業の展開においては、教材研究及び教材開発に積極的に取り組み、授業案の作成に取り組ませた。模擬授業の練習を重ね、実際に模擬授業を展開し、自身の授業について客観的に評価でき、自己の課題を明確にすることができた。今年度は受講者が一人であったため、助手の応援を得て授業がスムーズに進むように工夫した。

授業科目名【看護教科教育法Ⅱ】
 新型コロナウイルス感染症の影響で、授業の前半はリモートでの実施となったが、模擬授業の指導は、感染予防に留意し対面授業を行った。看護教科教育法Ⅰの学びを活かし、看護基礎教育における「演習」「実習」の学習形態の特徴等について関連する本を読むことで広い視野で考えることができるように指導を行った。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、学生が臨地実習を経験しておらず、臨地実習における指導計画・指導方法について、具体的に考えさせることは困難であった。模擬授業は、「演習」の授業形態について授業案の作成を指導し、実習室における練習を重ねた。模擬授業の展開後は、授業を客観的に評価するとともに、授業研究の必要性の理解にもつなげた。今年度は受講者が一人であったため、助手の応援を得て授業がスムーズに進むように工夫した。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本看護学会		1984年4月～現在に至る
日本看護科学学会		2003年4月～現在に至る
日本看護研究学会		2003年4月～現在に至る
日本精神保健看護学会		2007年10月～現在に至る
日本医学看護学教育学会		2007年10月～現在に至る
日本精神科看護技術協会		2008年4月～現在に至る
日本看護学教育学会		2008年4月～現在に至る

2020年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) iOS/Android アプリケーション e-learning N プラス (国家試験対策用 e-learning) 監修：安酸史子(関西医科大学看護学部教授)	共	2020, 4	メディカ出版 iOS/Android アプリケーション	第108回看護師国家試験問題についてメディカ出版より依頼を受けた。今回は精神看護学分野の全4問について解答とその解説をした。 共著者：前田由紀子、安藤愛
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金(科学研究費補助金等)導入状況(本学共同研究費を含む)			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者()内は学外者	交付決定額 (単位:円)
看護実践者のコンピテンシーと大学教員に求められるコンピテンシーの関連性の究明	文部科学省科学研究費補助金(平成29~令和2年)	○(立石和子)、前田由紀子、(有澤舞)	4,550,000

外部資金(科学研究費補助金等)導入状況(本学共同研究費を含む)			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
精神保健看護学会	第30回学術集会執行役員 編集委員長	2018年12月~2020年10月

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)

[大学委員会]

図書委員会 2020年4月1日～現在

[学科委員]

国家試験対策委員長 2020年4月1日～現在